

よ う こ そ

第 2 号

浄土真宗本願寺派

円 光 寺

〒870-0108
大分市三佐3-15-18
TEL097-527-6916
FAX097-527-6949

お念仏申して

行く年をおくりましゅう!!

十二月はクリスマス?

十二月に入って大分の町に出ました。デパートは歳末商戦たけなわで大賑わいです。そして聞き馴れた音楽が流れていました。クリスマスソングです。サンタクロースの帽子をかぶった店員が洋菓子を売っていました。十二月はクリスマス。いつもの時からそうだったのか。いつもこの時期になると思います。

クリスマスで年の瀬をおくり、大晦日にはお寺で除夜の鐘をつき、その足でお宮へ初詣で行く。何の疑問も感じることなく、これがごくごく一般的な日本人の生活スタイルになっています。一年最後の十二月。「一年経つのは早いですね」と言いながらも時は足早に過ぎ行きます。もっと違う過ごし方はないものでしょうか。



門徒報恩講地域法座(沖・石口恒夫様宅)

月参りに勤しむ

得度して浄土真宗の僧侶となり、昭和五十一(一九七六)年に寺に帰ってきました。さて帰って何をするか。高齢の法務員さんに任せていたご門徒の月参りをお手伝いすることになりました。当時はお参りしても留守のお宅が多く誰もいない仏間で一

人お勤めをするといった、少し淋しいお参りでした。でも徐々にご門徒の皆さんとも知り合い色んな楽しみもできました。以来、月参りの法務は私の生活の中心になっていきます。

十二月は報恩講月

六年前、父(前住職)が病に倒れ教務所を退職して法務一切を引き受けることになりました。十二年間寺と教務所の掛け持ちで午前中に月参りをしていましたが、時間に追われて何か中途に返って月参りから見直していかうと思ひ、十二月の月参りを門徒報恩講ということで各地区ごとにお参りし夜は地域法座をもつようにしました。

報恩講は浄土真宗門徒にとつても重要なお勤め、親鸞聖人のご法事です。ご門徒お家のお仏壇をきれいにお荘厳してご一緒にお勤めを致します。

十二月は一年の締めくくりの月であり、阿弥陀さま、親鸞さま、蓮如さま、そして私にお念仏を届けてくださったご先祖有縁の仏さま方にこの一年の報告をしお礼をさせていただきます。日々の生活の中で、一年一度の報恩講のご縁を大切にしていきたいでしょう。(住職)

世々生々

住職継職法要では、日が近づくにつれ、忙しさも増しましたが、そのこと以上に、たくさんの方々、本当にいろんな形で支えてくださり、温かい

思いをいっぱいいただきました。◆また、「当日は、住職も坊守も動けません」の言葉に、実行委員の皆さんが見事に役割を果たしてくださり、ゆつたりと本堂に座らせていただきました。「おまかせする」ということは、何とやすらかなことだろうと実感。「ようこそ、ようこそ」と受け止めさせていただきました。◆赤・白・黄：おかげさまで花いっぱいのお法要でした。浄華山円光寺です。お法りの華でいっぱいになるといいですね◆四月十九日、京都のご本山での仏教婦人会総連盟総会に、理事さん全員と坊守の八名でお参りさせていただきました。思いがけない全員参加に、新米坊守としては、大いに勇気づけられ、感無量でした。大きな支えを思わずにはおれません◆今回の旅を機縁に、この八名の会を「あやめの会」と命名しました。また一つ、お法りの華が咲きました。ありがとうございました。(坊守)

おかげさまで、よかったです。

三月三十日・三十一日

「第十八世住職継職奉告法要」
蓮如上人五百回遠忌法要

厳修



法中・楽人・親族の皆さんと記念撮影

天気よかったですね

前日は夜遅くまで雨でしたが、朝起きたら朝陽が上っていました。準備万端でも天気ばかりはどうしようもありません。これ以上ない天気で、とてもどかな雰囲気になりました。よかったです。

沢山のお坊さんでした

大海組、友人、親族の四十八名の法中方にご出勤いただきました。稚児幄舎の清松朝幸さん宅仏間に入り切れずに畳二畳分増席してくださいました。「あふれんばかりの重厚な声明でお勤めいただき、家中が洗い流されたようで清々しく大変有り難かったです」と清松さんに言ってもらいました。よかったです。



稚児幄舎で(仲町・清松朝幸様宅)

雅楽が感動的でした

仏社会員を中心に門徒有志八名が大在の長光寺さんで一年間ご指導いただき、大分教区・大海組の方々と一緒に総勢二十一名で奏楽くださいました。稚児行列で本堂法要で平安貴族のような烏帽子姿の衣体をつけて、賑々しく雅やかな法要になりました。「一生の思い出になります」と全員の声。よかったです。



楽人の皆さん



稚児行列を先導

可愛いお稚児さんでした

九十三名のお稚児さんが法要に華を添えてくれました。二日目の「仏の子どもの集い」では親子で一緒に本堂にお参りし仏さまのお話を聞きました。「初めてお寺にお参りました」とお母さん。よかったです。



仏の子どもの集い



挨拶する住職

やわついで法話したね

ご講師は深川宣暢師。京都・龍谷大学教授で堅苦しいお話かと思いきや、浄土真宗のご法義をユーモアを交えてわかりやすくお取り次ぎいただきました。「あたたかい今日の天気のように」よかったです。



記念法話をされる深川宣暢師

◀本堂法要のようす
(上)外陣より全景 (下)行道する内陣出勤法中



◀(上)仏さまへ伝供
(下)「お正信偈」を一緒に



素晴らしい法要でしたね

法要の執行責任者を「会奉行」といいます。このたびは大内智乗専想寺ご住職にお願いしました。住職の我がままを最後まで聞いてくださり、大勢の出勤法中・楽人・門徒スタッフをとりまとめて、つつがなく法要執行いただきました。大変ご苦労さまでした。誠に有り難うございました。

二百五名のご門徒皆様のお参りをいただき、九十四名のスタッフ全員が力を合わせて「門徒みんなの法要」が出来ました。よかったです。

▶(上)記念式典 (下)祝宴のようす



実行委員の皆さん ありがとうございます

最後に

父(昭然前任職)と一緒に法要をお勤めすることが出来なかったのは残念でしたが、昨年七月に得度したばかりの新院・大智と共に内陣出勤させていただきました。また広海、一心と親子四人でお勤めができました。この上ない喜びです。よかったです。



親子4人 (左から晃照、大智、広海、一心)

◀稚児行列を迎える
坊守(教恵)と前坊守(保恵)



お浄土への人生

シリーズ 『同行さん』

②花まつり白象パレード

春の法要で初めて花まつり白象パレードをしました。住職の長年の念願でした。その主役の白象を作ってくださいだったので大村の橋本利男さんです。「とっさん」の愛称で皆さんから慕われています。お父さんが鶴崎で家具職をしていましたが、橋本さんも大変器用で頼んだことは何でもしてくれます。これまでも寺の掲示板や人形劇の舞台も作ってくれました。今回は一年がかりで仕事の合間をぬって丹念に白象を製作してくださいます。おかげで収納のよいコンパクトで可愛い白象が出来ました。



お稚児さん皆なで白象を引きました

前任職とは子どもの頃からの付き合いで、戦後間もなく三佐の青年団が青年演劇で日本一になつたときも裏方役で東京と一緒に行ったそうです。(菊池寛原作「父帰る」の舞台で、鶴崎駅から三佐まで提灯行列をした話)が今も語り継がれています

お寺とのお縁も仏教壮年会結成当時からメンバーで、現在は円成会の会長として毎月一日(前任職の命日)の例会など

本山月刊誌『大乘』に
円光寺仏教子ども会が紹介されました。

●フトリとフトラを語る●

元気!ほとけの子
◎圓光寺仏教子供会(大分)

住職先生、坊守先生
これからもよろしくね

『大乘』2002年6月号より転載



白象と一緒に橋本利男さん

に率先して寺参りされています。来年四月八日には第二回白象パレードを予定しています。「とっさん」これからもお元気で、よろしくお願ひします。

『よろこび金庫』

喜びの浄財を次の方よりお寄せいただきました。誠にありがとうございました。誠にありがとうございました。(敬称略)

- 深川宣暢 (継職法要祝い)
- 藤並晃照 (住職継職)
- 藤並広海 (高校進学)
- 藤並保恵 (喜寿)

〔支出項目〕
(1)「法被」三十枚

法要で初披露しました。青・黄・ピンクの色とりどりです。
(2)九州地区仏青大会参加助成
十月に佐賀で開催。三名参加。

あとがき

最近のブームの一つに温泉がある。どこへ行っても「湯・ゆ」である。温泉の良さには色々あるが、何はともあれ、皆さん「お風呂大好き」だと思う。人は生きている間、ほとんど毎日のように入浴を楽しむ。

あるお聴聞の席でふと思った。「仏法(浄土真宗のご法義)は、聴聞に極まる。聴聞は何回聞いたらもうよいというものではない。生きている間ずっと聞いていくことだ」との事。
頭の中に温泉のことが浮かんだ。「そうだ、同じなんだ」

(田仲 進)